

今年は、近畿地方・四国地方で統計史上最も早い梅雨入りとなりました。関東の梅雨入りは平年並みの6月上旬になるようです。皆さま、お元気でご活躍のことと思います。【FIFA ワールドカップ・カタール大会】2022年11月21日に開幕する“4年に1度の祭典” サッカー日本代表は現在、アジア2次予選を戦っています。アジア2次予選はグループ首位、もしくは各グループの2位の中で成績上位4カ国に入ること最終予選に進出できます。次の試合は6月7日タジキスタン。6月15日キルギスと対戦します。ワールドカップでも活躍が期待される久保建英選手。5月16日のラ・リーガ、レバンテ戦で決勝ゴールを決めヘタフェをスペイン1部残留に導きました。久保選手にとっては今季ラ・リーガ初ゴールとなりました。ピジャレアルからヘタフェへ期限付き移籍後なかなか出場機会をえられていなかったが、後半39分に得意の左足で強烈なミドルシュートを叩き込みました。ヘタフェへのレンタル期間は今季終了までで、シーズン終了後の去就が注目されています。中村

令和2年度下請取引等実態調査の結果

国土交通省及び中小企業庁では、建設業法の規定に基づき、建設工事における下請取引の適正化を図るため、下請取引等実態調査を毎年実施しています。令和2年度調査の結果、指導対象調査項目について、不適正な取引に該当する回答を行った建設業者10,251業者に対し、指導票を発送しました。

調査の概要

- ◇ 調査対象業者：18,000業者（うち回収業者数：13,479業者、回収率74.9%）
- ◇ 調査方法：郵送による書面調査（令和2年10月22日～令和2年11月30日）
- ◇ 調査対象期間：令和元年7月1日～令和2年6月30日における取引
- ◇ 調査内容：元請・下請間及び発注者・元請間の取引の実態等、消費税の転嫁に関する状況、技能労働者への賃金支払状況等

調査の結果

建設工事を下請負人に発注したことがある建設業者（11,499業者）が回答すべき調査項目について、指導対象となる28の調査項目に対し、全て適正回答（適正な取引を行っている）と回答だった適正回答業者率は10.9%と昨年度（9.0%）から1.9%増加しました。また、28の調査項目に対し、25の項目で適正回答率が増加しました。しかしながら、未だ多数の建設業者が適正な取引を行っていない状況は従来同様で、建設業の取引において重要な項目でも適正回答率は低い状況です。特に「知事・一般」建設業者で顕著な傾向にあり、中でも「契約方法」においては約6割が不適正な契約方法を行っており、その内18.8%が未だ「メモ又は口頭による契約」を行っている状況でした。

調査結果にもとづく今後の対応

本調査の結果により、建設業法に基づく指導を行う必要があると認められた建設業者に対しては指導票を送付し、是正措置を講じるよう指導を行いさらに、本調査結果に基づき、必要に応じて、許可行政庁において立入検査等を実施しました。講習会の場を設けるなど、建設業法令遵守の周知徹底を今後とも図っていくもようです。

問合せ先

国土交通省不動産・建設経済局建設業課 建設業適正取引推進指導室

TEL: (03)5253-8111 (代表)・(03)5253-8362 (直通)

(河野)

知っちよい得

特別寄与料を請求できる者は、被相続人の親族です。親族とは、6親等内の血族、配偶者、3親等内の姻族ですが、相続人、相続放棄をした者、相続人の欠格事由に該当して相続権を失った者、排除によって相続権を失った者を除きます。その親族が被相続人に対し無償で療養看護その他の労務を提供したことにより被相続人の財産の維持又は増加について特別の寄与をした場合に、相続開始後に、相続人に対し、寄与に応じた額の金銭の支払いを請求できることとなります。特別の寄与は、療養看護は例示であって、事業に関する労務の提供などになりますが、単なる財産上の給付は含まれません（続く）。

弁護士 渋谷和洋

建設業Q&A

Q. 後期高齢者のため保険証に事業所名の記載がない場合はどうすればよいですか？

A. 後期高齢者の方の保険証の写しに加えて、確定申告書の役員報酬欄への記載や住民税特別徴収税額通知（徴収義務者用）、特別徴収切替届出（受付印のあるもの）などにより、交代日における在職が確認できる書類が必要です。

(中村竜二)

満月【ストロベリームーン】

毎月夜空に浮かぶ満月。満月には、月ごとにさまざまな呼び名があります。6月の満月は、地平線からそれほど高く上がらず、大気中の湿気などの影響を受けて、赤みがかって見えます。日本より緯度の高い英国ではさらに赤みを帯びて、「ストロベリームーン」と呼ばれています。

また、こんなことわざもあります。“^{あまよ}雨夜の月”梅雨になり、雨の降る夜も月は雲の上にあります。このことから、恋人の姿を思い浮かべるだけで、実際には会いたくても会えないことのとえに使われます。それから、月の満ち欠けが、潮の満ち引きと深く関係しているように、作物の水分にも大きな影響を与えています。日本人は昔から月のリズムに合わせた暦によって、種まきや収穫の日取りを決め、農作物を育ててきました。

(澁谷美和)